

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【公開番号】特開2012-164970(P2012-164970A)

【公開日】平成24年8月30日 (2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2011-279492(P2011-279492)

【国際特許分類】

H 0 1 L 25/00 (2006.01)

H 0 1 L 23/34 (2006.01)

H 0 1 L 23/473 (2006.01)

H 0 1 L 25/10 (2006.01)

H 0 1 L 25/11 (2006.01)

H 0 1 L 25/18 (2006.01)

H 0 1 L 21/822 (2006.01)

H 0 1 L 27/04 (2006.01)

H 0 1 L 21/3205 (2006.01)

H 0 1 L 21/768 (2006.01)

H 0 1 L 23/522 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 25/00 B

H 0 1 L 23/34 A

H 0 1 L 23/46 Z

H 0 1 L 25/14 Z

H 0 1 L 27/04 A

H 0 1 L 27/04 V

H 0 1 L 27/04 H

H 0 1 L 21/88 J

H 0 1 L 21/88 S

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月25日 (2013.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 8 】

一部応用（例えばハプティクスやタッチスクリーン技術）に対して、高電圧が、スクリーンに対する機能にアクセスするためのスクリーンのタッチによって発生され得る。異なるオプションが選択されると、電荷が生成されて、“ダンピング”されなければならない。本発明の一実施形態に係る集積システムは、この“ダンピング”された電荷を貯蔵して、その後システムに再循環させることができる構造（例えばキャパシタ）を含む層を提供し得る。従って、本発明に係る集積システムは、システムの異なるファセットによって生成されたエネルギーを収穫して、全体的な電力効率を改善する。